

公的資金の繰上償還について(下水道事業)

1. 概要

高金利企業債の公債費負担を軽減するため、徹底した経費削減等を内容とする公営企業経営健全化計画を策定し、経営改革を行う事業を対象として、補償金なしで公的資金の繰上償還を認めるもの。平成19年度から3年間実施されたが、平成22年度より更に3年間、対象となる起債の範囲を拡大し実施されている。

※繰上償還の財源としては、民間等資金での借換債の発行が可能

2. 本市公共下水道事業の繰上償還対象の企業債

年利5%以上の旧資金運用部資金、旧公営企業金融公庫資金、旧簡易生命保険資金

3. 繰上償還額

- ・財務、総務両省の協議を経て、平成23年12月16日付けで繰上償還が承認された。
- ・平成23年度からの2年間で約32億円の繰上償還を実施する予定。(平成22年度は対象起債なし)
- ・平成23年度から平成33年度の11年間で、約7億円の利息軽減を見込んでいる。

○年度別繰上償還額

(単位：百万円)

	平成23年度	平成24年度	合計
公共下水道事業	2,162.2	1,013.4	3,175.6

○資金区分別・利率別償還額

(単位：百万円)

	年利5.0～6.0%	年利6.0%以上	合計
旧資金運用部資金	79.4		79.4
旧公営企業金融公庫資金	1,680.1		1,680.1
旧簡易生命保険資金	934.0	482.1	1,416.1
合計	2,693.5	482.1	3,175.6

4. 経営健全化計画

(1) 今後の財政状況の見通し(経営計画2011をもとに作成)

- ・累積欠損金 ……平成27年度末で10億円以下に収支を改善
- ・企業債残高 ……平成27年度末で1,500億円以下に残高を減少

○公共下水道事業

(単位：億円)

項目	H23	H24	H25	H26	H27
事業収益	134	135	136	135	134
事業費用	133	133	133	134	133
当年度純損益	1	2	3	1	1
累積欠損金	△17	△15	△12	△11	△10
企業債残高	1,643	1,610	1,577	1,543	1,500

(2) 経営健全化に関する施策

- ・職員定数の見直し ……受付業務のコールセンター化に伴い1名の減員
- ・維持管理費の縮減 ……水処理施設の運転効率化により年間約500万円の動力費削減